

# 2009年度シラバスシステム 内部設計書

岡崎 浩和

2009 年 3 月 31 日

# 目 次

1	本書について	4
2	システム構成図	4
3	プログラム情報	4
3.1	プログラム構成	4
3.1.1	change_pass.php	4
3.1.2	delete_class.php	4
3.1.3	chown_class.php	4
3.1.4	delete_user.php	4
3.1.5	edit.php	4
3.1.6	index.php	4
3.1.7	regist_class.php	4
3.1.8	regist_user.php	5
3.1.9	replacetext.php	5
3.1.10	str2otf	5
3.1.11	syllabus_pdf.xsl	5
3.1.12	use.html	5
3.1.13	view_all_class.php	5
3.1.14	view_user_class.php	5
3.1.15	session_start.inc	5
3.1.16	session_check.inc	5
3.1.17	session_end.inc	5
3.1.18	value.inc	5
3.2	データファイル構成	6
3.2.1	data ディレクトリ	6
3.2.2	data/****/xml ディレクトリ	6
3.2.3	data/****/workdir ディレクトリ	6
3.2.4	data/****/pdf ディレクトリ	6
3.2.5	css ディレクトリ	6
3.2.6	maintenance.css	6
3.2.7	edit.css	6
3.2.8	top.css	6
3.2.9	SCS.css	6
3.2.10	use.css	6
4	プログラムソース	7
4.1	ユーザ定義関数とその機能, 入出力	7
4.1.1	change_pass.php	7
4.1.2	make_crypted_pass()	7
4.1.3	html_out()	7
4.1.4	error()	7
4.1.5	chown_class.php	7

4.1.6	select_page(\$selectclass, \$depart)	7
4.1.7	change_page()	7
4.1.8	make_teacher_list()	7
4.1.9	delete_user.php	7
4.1.10	make_teacher_list()	7
4.1.11	edit.php	7
4.1.12	write()	7
4.1.13	binarycheck()	8
4.1.14	write_print_double(\$str)	8
4.1.15	ed()	8
4.1.16	changelist(\$name_ja, \$endtype)	8
4.1.17	readvalue_double(\$tag)	8
4.1.18	make_pdf(\$depart, \$simplefilename)	8
4.1.19	htmlSCU8(\$var)	8
4.1.20	xml_ent(\$string)	8
4.1.21	xmd_ent_de(\$string)	8
4.1.22	regist_class.php	9
4.1.23	xml_ent(\$string)	9
4.1.24	xml_ent_de(\$string)	9
4.1.25	replacetext.php	9
4.1.26	replaceText(\$str)	9
4.1.27	str2otf.php	9
4.1.28	str2otf(\$str)	9
4.1.29	ordUTF8(\$c, \$index)	9
4.1.30	ChangeFlag(&\$f)	9
4.1.31	view_user_class.php	9
4.1.32	check_password(\$password)	9
4.1.33	makelist()	9
4.2	定数一覧	10
4.3	変数一覧	10

## 1 本書について

本書は 2009 年度のシラバスシステムの内部設計書である。

## 2 システム構成図

岡山県立大学シラバス管理システム 2009 システム管理図.pdf を参照。

## 3 プログラム情報

### 3.1 プログラム構成

以下に、シラバスシステムの各種プログラムファイルと機能の概要を示す。

#### 3.1.1 change\_pass.php

パスワードの変更を行います。

#### 3.1.2 delete\_class.php

科目の削除を行います。

#### 3.1.3 chown\_class.php

科目を所有している教員の変更を行います。

#### 3.1.4 delete\_user.php

教員の削除を行います。

#### 3.1.5 edit.php

シラバスの編集画面の表示から xml ファイル・tex ファイル・pdf ファイルの生成までを行います。

#### 3.1.6 index.php

シラバスシステムの index の表示を行います。

#### 3.1.7 regist\_class.php

科目の登録を行います。

#### 3.1.8 regist\_user.php

教員の登録を行います。

#### 3.1.9 replacetext.php

問題が発生する特殊文字の置換を行います。

#### 3.1.10 str2otf

各文字を otf での UTF-8 の表示方法である \UTF ???? という形式に変換します。

#### 3.1.11 syllabus\_pdf.xsl

シラバスの xml ファイルから  $\text{\TeX}$  の形式に変換するための xsl が記述されています。

#### 3.1.12 use.html

使い方・注意事項のページの html です。

#### 3.1.13 view\_all\_class.php

科目一覧の表示を行います。

#### 3.1.14 view\_user\_class.php

各教員の科目一覧の表示を行います。

#### 3.1.15 session\_start.inc

セッションの開始します。

#### 3.1.16 session\_check.inc

セッションファイルが存在しない場合、トップページへ戻ります。

#### 3.1.17 session\_end.inc

セッションファイルを削除します。

#### 3.1.18 value.inc

各ディレクトリと学科の対応や定数が定義されています。

## 3.2 データファイル構成

本章では、システムがデータの格納や処理を行うファイルとディレクトリの構成について示す。

### 3.2.1 data ディレクトリ

data ディレクトリには実際に作成されたデータが格納されています。

data ディレクトリ以下には各学科毎のディレクトリがあり、各学科のディレクトリの内部は pdf ディレクトリ・workdir ディレクトリ・xml ディレクトリに分かれています。各学科名とディレクトリとの対応は value.inc に記述されています。

### 3.2.2 data/\*\*\*\*/xml ディレクトリ

xml ディレクトリには入力画面で入力された各科目の情報が科目毎に保存されています。

### 3.2.3 data/\*\*\*\*/workdir ディレクトリ

xml ディレクトリに格納されたデータをもとに tex ファイルを作成し、組み版する作業ディレクトリです。

### 3.2.4 data/\*\*\*\*/pdf ディレクトリ

生成された pdf ファイルが保存されるディレクトリです。

### 3.2.5 css ディレクトリ

#### 3.2.6 maintenance.css

change\_pass.php, chown\_class.php, delete\_class.php, delete\_user.php, regist\_class.php, regist\_user.php で使用している css ファイルです。

#### 3.2.7 edit.css

edit.php で使用している css ファイルです。

#### 3.2.8 top.css

index.php で使用している css ファイルです。

#### 3.2.9 SCS.css

view\_all\_class.php と、view\_user\_class.php で使用している css ファイルです。

#### 3.2.10 use.css

use.html で使用している css ファイルです。

## 4 プログラムソース

### 4.1 ユーザ定義関数とその機能, 入出力

#### 4.1.1 change\_pass.php

#### 4.1.2 make\_crypted\_pass()

暗号化されたパスワードをパスワードリストファイルに追加します。

#### 4.1.3 html.out()

パスワード変更が正常に完了したことをユーザーに伝えるページを表示します。

#### 4.1.4 error()

引数 `error_flag` パスワード入力の際にエラーが発生した場合にエラー内容をユーザーに伝えるページを表示します。

#### 4.1.5 chown\_class.php

#### 4.1.6 select\_page(\$selectclass, \$depart)

引数 `selectclass` 所有者を変更したい科目  
`depart` 学科名  
所有者を変更するページを表示します。

#### 4.1.7 change\_page()

所有者を変更し、`data` フォルダのファイルを変更します。

#### 4.1.8 make\_teacher\_list()

ある科目の所有者を変更した後で、その教員が所有している科目のリストを表示します。

#### 4.1.9 delete\_user.php

#### 4.1.10 make\_teacher\_list()

ある使用者を削除したのち、`root` を除いた使用者のリストを表示します。

#### 4.1.11 edit.php

#### 4.1.12 write()

フォームに記述されたデータを POST で受け取り、XML ファイルに書き込みます。

#### 4.1.13 binarycheck()

XML で使用できる文字コードにエンコーディングします。

#### 4.1.14 write\_print\_double(\$str)

引数 `str` XML ファイルに書き込む文字列  
???

#### 4.1.15 ed()

シラバスの編集ページを表示します。

#### 4.1.16 changelist(\$name\_ja, \$endtype)

引数 `name_ja` 担当教員の日本語名  
`endtype` ???  
???

#### 4.1.17 readvalue\_double(\$tag)

引数 `tag` `edit.php` で入力された文字列  
???

#### 4.1.18 make\_pdf(\$depart, \$simplefilename)

引数 `depart` 学科名  
`simplefilename` ???  
XML ファイルから pdf ファイルを作成します。

#### 4.1.19 htmlSCU8(\$var)

引数 `var` 任意の値  
`var` を HTML で正しく表示できるように変換します。

#### 4.1.20 xml\_ent(\$string)

引数 `string` 任意の文字列  
`string` を HTML で正しく表示出来るように変換します。

#### 4.1.21 xmd\_ent\_de(\$string)

引数 `string` 任意の文字列  
`string` をデコードします。



#### 4.1.22 regist\_class.php

#### 4.1.23 xml\_ent(\$string)

引数 `string` 任意の文字列  
任意の文字列をエンコードします。

#### 4.1.24 xml\_ent\_de(\$string)

引数 `string` 任意の文字列  
任意の文字列をデコードします。

#### 4.1.25 replacetext.php

#### 4.1.26 replaceText(\$str)

引数 `str` 任意の文字列  
文字列をハッシュ表と照らし合わせ、合致すれば置き換えます。

#### 4.1.27 str2otf.php

#### 4.1.28 str2otf(\$str)

引数 `str` 任意の文字列  
???

#### 4.1.29 ordUTF8(\$c, \$index)

引数 `c` ???  
`index` ???  
???

#### 4.1.30 ChangeFlag(&\$f)

引数 `f` flag  
フラグを反転させる。

#### 4.1.31 view\_user.class.php

#### 4.1.32 check\_password(\$password)

引数 `password` パスワード  
パスワードが正しく入力されているかチェックします。

#### 4.1.33 makelist()

???

## 4.2 定数一覧

存在しません。value.inc に複数ページで使用する変数を記述しています。

## 4.3 変数一覧

???